

「経済戦争挑発、植民地支配の否定、憲法9条改憲強行」安倍政権糾弾！

東アジアの平和をつくる日韓平和市民共同宣言

安倍政権は植民地支配を認め謝罪せよ！

安倍政権が挑発した経済戦争は、韓国に行った植民地支配を否定し、戦後作られた憲法第9条(平和憲法)を無力化し、日本を「戦争のできる国」にするという宣言である。安倍首相は韓国大法院の強制徴用賠償判決を1965年の日韓請求権協定に反するものだとごまかし、韓国を平和の脅威の勢力と規定し経済報復を敢行している。しかし、日韓請求権協定には個人請求権が含まれていないことを過去日本政府も認めたはずであり、これを否定することは不正な意図を貫徹させようという押しつけに他ならない。

韓国と日本さらには東アジアの平和市民の誰もが、安倍政権の推進する「戦争のできる国」に反対し、排外主義ではない相互協力に基づいた平和な国際関係を望んでいる。安倍政権が狙っている軍事大国化と排外主義は、日韓民衆の生活を根こそぎ奪う脅威であること、私たちは歴史を通じて学んだ。日韓の平和市民は、安倍政権が過去の植民地支配を認め謝罪することを望む。過去の歴史を認め謝罪することこそ、同じ歴史を繰り返さないという約束であり、日韓民衆から奪った人間の尊厳を回復するという意志である。したがって今、安倍政権がするべきことは、経済戦争による挑発ではなく、植民地支配に対する心からのお詫びだ。これを基礎にしてこそ、日韓が戦争と葛藤ではなく平和へと進む道を開くことができる。

東アジアに軍事的緊張ではなく平和を！

米・中の東アジア覇権争いは、日米韓三角同盟を強化し、北・中・ロを結ぶ東アジア冷戦構図を固着させることで、東アジアでの戦争脅威を高めている。このため東アジアは世界中で軍事的対立と緊張のホットスポットとして浮上している。そこに安倍政権の経済戦争挑発が油を注いだ形となった。このような状況で米国は、日韓の両国に対し国防費増強を要求し、ホルムズ派兵を促すなど、葛藤を利用して自国の覇権を固めているにすぎない。米国が主導したサンフランシスコ講和条約は、日本を下位パートナーとした東アジア覇権戦略を推進するために、日本の植民地支配に免罪符を与えた。また、1965年の日韓請求権協定でもソ連封鎖のための日米韓三角同盟の構築を目的として介入し、日韓請求権条約により最終的に解決されたと認めたことがある。米国の東アジア覇権の掌握は、濟州島と沖縄の軍事要塞化、星州へのサード配置などで、韓国と日本の民衆の生活とその基盤を踏みじり進められた。もちろんこれらは韓国政府と日本政府の容認の下で行われたことである。日韓両国政府が日米韓三角同盟のパートナーとしての地位を維持しようとする限り、日韓軍事情報保護協定は廃棄されないまま、朝鮮半島の軍事的緊張を深めていくだろう。

結局のところ、東アジア覇権争いのために戦争の危機を煽り絶えず軍事大国化を図る日米韓の支配勢力には、民衆の暮らしと平和を守ることはできない。だからこそ、日韓平和市民の連帯で、朝鮮半島、さらには東アジアに、軍事的緊張ではなく平和をつくっていかう。

「平和を望むなら戦争の準備をしろ!」これは全世界の為政者たちの使い古されたイデオロギーであり、国民を動員する論理だった。しかし、戦争で暮らしを破壊された市民は知っている。平和を守る軍隊はないということ。だから韓国と日本の平和市民たちは切に望む。軍事的緊張ではない平和を!!

私たちは資本戦争の犠牲にはならない！

韓国資本は、安倍政権の経済戦争挑発の情勢に乗じ、「半導体素材の国産化を妨げている」と、化学物質管理法、化学物質登録評価法を問題視し、産業安全保健法に対しても規制緩和を求めている。これらの法律は、多くの労働者や市民の死により作られた最低限の法である。しかし資本と政府の規制緩和の試みは、企業の利潤のために再び労働者が死の現場で半導体を生産することを強要させようとするものだ。

さらに韓国の資本と政府は、部品・素材R&D事業に対する予備妥当性調査の免除、フッ化水素など化学物質に対する規制緩和、国産化実証テストなどへの特別延長労働の認定、R&D研究陣などに対する裁量労働制活用支援、52時間労働

働きの例外認定などを打ち出している。日本との競争に立ち遅れてはならないとしながら、医療民営化の一環であるバイオヘルス革新戦略関連立法も強く推進している。資本と政府は国民の愛国心を活用しつつ、「国益」という名で資本のための規制緩和と労働者・民衆に背く政策を積極的に推進しようとしている。

韓国政府は経済戦争を口実とした愛国主義の枠組みで労働者民衆に一方的な犠牲を強要し、危険な労働、不安な生活へと追い込んでいる。この過程を通じて、犯罪者であるイ・ジェヨン(*李在鎔、サムスン電子副会長)がむしろ愛国者として注目されているおかしな光景が韓国で起きている

日本でもまた、安倍政権が右翼勢力を一つにまとめて反韓感情を助長することを通じて、軍事大国化と日本の資本の利益を守ろうとしており、これは必然的に日本の労働者と民衆に苦痛を与えている。私たちは経済戦争を口実にした日韓労働者と民衆に対する一方的な犠牲の強要を受け入れることはできない。

我々は自ら自分の生活を守り、平和な世界を作り上げる

安倍政権はしっかりと記憶せよ。そして認めよ。日本の平和憲法は、戦争犯罪に対する懺悔であり、侵略の歴史を終えるという意志表明であり、日本市民の平和への渴望の結果であることを。そして日本の軍国主義が、どのように他国の市民を死地に追い込み、自国の市民にどれほど大きな苦痛を与えたかを！

私たちは日韓労働者・民衆が愛国という名の下で資本家に搾取されながら、支配勢力が助長する排外主義と国家主義に動員され、互いに嫌悪することを望まない。日韓の平和市民は連帯の歴史を持っている。社会的に多様な領域で人間の尊厳と生命を何よりも最優先課題とし、肩を組んで共にしてきた。我々は日韓民衆連帯の歴史を土台として、平和に向けた第一歩を踏み出すだろう。私たちは戦争を止め、暮らしと平和を守る道が民主主義の力であることを知っている。そしてその力は連帯を通じて可能であることを知っている。したがって私たちは日韓平和市民の強固な連帯で、戦争脅威に揺れる東アジアに平和な世界を作っていく。

東アジアの平和のために、日韓平和市民の名で要求する

- ・安倍政権は植民地支配の過去の歴史を認め、被害者に謝罪せよ！！
- ・安倍政権は経済戦争挑発を直ちに中断しろ！！
- ・安倍政権は戦争のできる国への回帰、憲法9条改憲を中止しろ！！
- ・労働者・市民の生命を脅かす資本のための規制緩和を中断しろ！！
- ・東アジアの平和を脅かす済州島と沖縄の軍事要塞化を中止し、星州サード配置を撤回せよ！
- ・東アジアの平和を脅かす日米韓軍備増強と日韓政権のホルムズ派兵に反対！
- ・東アジアの冷戦を煽る日韓軍事情報保護協定を破棄し、日米韓三角同盟戦略を破棄せよ！

2019年8月14日

(日韓参加団体及び個人記名)

■取り扱い団体

平和と民主主義をめざす全国交歓会 (ZENKO)

〒120-0024 東京都足立区千住関屋町8-8 パラマウント2F

〒536-0016 大阪市城東区蒲生1丁目6-21 LAGセンター

2019年8月31日現在

■個人署名 882名<内、公表349名、未公表533名>

■団体署名 34団体

<個人署名> 公表可 338名

西岡信之、戸川悦子、川島実穂、石田隆子、大西啓二郎、山本浩、村田恵子、山川義保、佐々木好雄、川口健次、小西昌、福永篤志、松田幹雄、松田久子、三橋英子、森本博行、糸賀孝子、秋野恭子、奥西勇、八木浩一、森文洋、松谷卓人、田中拓真、松尾孝子、森厚子、大西裕三郎、手塚隆寛、安井賢二、峯本敦子、中条吉博、富田毅、岩戸千秋、中川哲也、垣内由香、原誠二、岩崎晴彦、岩崎愛香里、岩崎美智子、岩崎奈那美、小山潔、山本由子、伍賀偕子、大田幸世、杉谷伸夫、三ツ林安治、天川康、松島洋介、田端信廣、豊田護、深江伊都子、遠山勝博、佐藤和利、田中充郎、西岡裕子、河辺友洋、藤平良祐、伴幸夫、日南田成志、山田光一、東口友子、辻谷博子、水谷直子、神田都、数田瑞稀、笠井恵子、田中秋子、武市大二郎、得平一輝、スラジュ恵、渋谷国彦、梅田忠斉、梅田曜子、梅田毅、梅田拓、吉永正明、吉永和世、吉永潤、下村雅哉、笠松正俊、古武家育子、東田好子、中條千尋、豆多敏紀、藤岡淳子、小川正明、小川裕子、中澤讓二、中澤和子、神田高宏、駒木根淑子、井上由美、松田明恵、吉田武司、山下恵江、上野通子、大崎陽一、神子幸恵、神谷宗孝、上杉史織、三浦一路、柴田武男、光永サチ子、藤田なぎ、中村薫、岡本稔子、木村修、藤岡章泰、榊田俊介、藤田敏雄、蜷川義章、高松昌子、杉之原かおり、新垣仁美、比嘉勝子、田代睦、「私」物語化計画 /作家:山川健一、チャゾトシミ、稲村敦子、羽月雅人(はつきまさと)、茅根潤一、金井創(日本キリスト教団佐敷教会)、沓沢大三、原弘篤、呉民淑、甲斐扶佐義、荒川仁平、高瀬晴久、佐々木透、佐々木美智子、佐藤周平、佐藤悠子、佐藤和義、山口兼男、山口真理子、山田勝仁、山本直好、山本博美、寺田和子、寺尾光身、室生祥、初沢克利、小林直生、松村紀之、森田綾子、菅原顕一、菅原美福、菅野幸枝、青島正晴、石月正広、石川正志、前田輪音、足立夏彦、村上トキオ、大久保啓子、大友洋樹、沢田石ゆかり、竹内雄紀、中上清、田坂州代、田崎敏孝、田中佳代子、田中克治、渡部秀清、土屋典子、島妙子、島六三、藤村祥子、藤平輝明、畠山順、比留間千稲、備仲臣道、美書肆 人魚の嘆き、彦坂尚嘉、平松明、有賀精一、立山正隆、鈴木雅子・北限のジュゴンを見守る会、高瀬幸子、小山敏夫、皆見貴代、高橋徹郎、庄知子、影千恵子、河内谷收、判田明夫、松永勝子、土橋修、中沢浩二、岡崎まゆみ(「40年 紅どうだん咲くむらで」映画監督)、金愛華、白倉和典、山田孝二、山田仁子、首藤明子、首藤豊子、山田哲也、福村信子、河田昌子、河田敏治、真下時子、真下桂元、佐藤信江、井上浩、富岡翔子、鎌田博文、浅井健治、佐武健一、本木達雄、西原功、小芝英俊、津嘉山茂子、吉岡和子、三宅タカ子、山下哲、藤田容、鳥谷恵利子、梶岡保一、松岡高子、外園祝子、松村隆行、亀井孝彦、山本寿満子、笠井孝之、山本寛子、安西美江、小谷逸子、玉川明弘、前田健志、近藤まり子、近藤哲郎、木倉まち子、近藤登史子、水谷正子、浅見竜子、住岡るみ、池木良太、山中悠、藤中重雄、高橋浩一、黒川優子、奥野恵子、坂根誠、井手窪啓一、倉富久夫、中村啓子、赤松俊宏、後藤淳子、東幸子、熊山雅代、青木久美子、津田眞弓、額田清司、中野善昭、正井美海、中島綾乃、岡村泉、森國悦、田口明子、金子恵二、高島ふさ子、近藤伸一、中村実、原田久美、野田暢子、中川秀、山川広美、山崎隆義、中谷里香、藤田和、畑京子、安東克明、廣田和也、阿部雄介、竹村務、谷口健二、上野益徳、中居三雄、五十子幸光、五十子恭代、藤丸照代、藤丸隆裕、石黒一郎、大西利律子、湯川恭、岡田弘隆(糸満長谷寺)、河野由美子、青島美千代、竹腰英樹(中野協同プロジェクト)、小林

和博、垣内玲子、山本茂之、清水裕子、瀧口力、野村佳代、北川誠康、三ツ木伸子、山崎義則、田中春夫、外山直哉、辻本臺子、中田光信、山田直哉、中村知、三宅宏英、奥森久美子、奥森祥陽、萩原ゆきみ、安原桂子、羽根田昌平、佐藤弘基、元山典愛、鈴木卓、菊池洋、小林由香、鈴木誠、小濱きよみ、石黒和代、津守雄佑、若宮八十英、浦野宏、浦野玲子、浦野かおり、手塚等史、手塚洋子、中野佳恵、石橋和彦、中野晴久、金森裕之、凌部秀清、池六学、乱鬼龍、佐々木香澄、山野敏之、竹内雄紀、ユンソングン、松崎幸隆、白承訓、上原範幸、上原松治、新垣洋子

<団体署名 34団体>

平和と民主主義をめざす全国交歓会(ZENKO)

MDS(民主主義的社会主義運動)

平和と民主主義をともにつくる会・大阪

ZENKO関電前プロジェクト

憲法いかそう茨木市民の会 代表山本よし子

OPEN・平和と平等を拓く女たちの絆

放射能から子どもを守る会・茨木

イラク平和テレビ局inJapan

ZENKO広島

フィリピンAKAYプロジェクトをともに創る会

平和と生活をむすぶ会

無防備地域宣言運動全国ネットワーク

「月桃の花」歌舞団

枚方市平和・無防備条例を実現する会

放射能から子ども達を守る枚方の会

戦争法廃止憲法変えるな！沖縄新基地建設中止枚方・交野実行委員会

全交・京都

平和と民主主義をともにつくる会・東京

子ども全国交歓会

平和と市民自治のまち大津をともにつくる会

ZENKO沖縄

日本製鐵元徴用工裁判支援する会

パラマウント製靴共働社

もんじゅ西村怪死事件の真相を究明する会

フェアコープ関東

首都圏なかまユニオン

平和と民主主義をともにつくる会・神奈川

なかまユニオン学校教職員支部

ZENKO兵庫

尼崎武庫川園労働組合

フェアコープ関西

ZENKO堺・河内長野

原発なくす河内の会

寝屋川市平和と市民自治の会